

南中学校 白石和紙作り

「あなたが心から慕うもの」部門 審査員特別賞



「斎川の魚たち」  
 かみにし 上西たかさん(白石市)

フォトコンテスト表彰式を開催します

写真家・関口照生さんを審査員に迎えたフォトコンテストの表彰式を開催します。

また、入賞作品は表彰式から5月12日(日)までご覧いただけますので、ぜひ会場にお越しください。

- 日時 2月17日(日)14:00～
- 場所 しろいし情報館(JR白石蔵王駅1階)
- テーマ 私には、愛しい白石があります。



1\_トロロアオイの根から出たトロトロとした「ネリ」を触ってみる生徒たち 2\_蔵富人のメンバーに要領を教わりながら「すげた」を前後左右に揺らして紙を漉く生徒 3\_虎斑楮の繊維がほぐれるまで木の棒を使ってとことんたたきます 4\_あくで煮た虎斑楮を、冷水に浸しながら丁寧にゴミを取り除いていきます。手がかじかむ作業です 5\_「ざぶり」と呼ばれる作業で、冷水にさらされ虎斑楮がより白くなっていく

南中での思い出を白石和紙に詰め込む

12月18日、南中学校で修了証書の用紙となる「白石和紙作り」を行いました。同校では平成28年から、2年生の時に生徒が自ら作った和紙を卒業証書として授与してきました。同校は3月で閉校するため、今回は、1・2年生11人が修了証書作りに挑戦。最後の白石和紙作りとなりました。この活動には、白石和紙の伝承に取り組む「蔵富人」のメンバーが、道具の貸し出しから製作の指導や補助を全面的に協力。生徒たちは、和紙作りの伝統的な全ての工程を体験しました。昨年7月に、蔵富人による白石和紙の歴史や特

徴などについての講話とワークショップを実施。11月には、校内で栽培した原料の「虎斑楮(カジノキ)」の収穫と皮むきも行いました。この日は虎斑楮の繊維を木の棒でたたいてほぐし、水の中で丁寧にゴミを除去。その後、虎斑楮ともう一つの原料「トロロアオイ」を、冷水を張った漉き槽で混ぜ、「すげた」と呼ばれる型枠を使って前後左右に揺り動かしながら漉き上げました。参加した生徒は「水が冷たくて大変でしたが、自分で作った修了証書もらえるのでうれしいです」と目を輝かせて話していました。

TO BE CONTINUED... ☆



白石  
 しろいしは、いいぞ。  
 そこはうーめんにあふれていた  
 作・画 古山真子 20

